

月山ダム水源地域ビジョンの取り組みとして あさひ小学校と「水源の森づくり」を開催しました

■「水源の森づくり」とは■

水資源を利用する市民が、森の元となる樹木のタネの採取から、植樹・育林を自ら行い、水源となる森を醸成するものです。それらを通して身近な環境に触れ、また、資源としての水の成り立ちを学習することから、水源地域が持つ特徴を生かした、地域づくりの基となることを目指します。

《水源の森づくり開催》

月山ダム水源地域ビジョンの取り組みとして、鶴岡市立あさひ小学校の2年生と「水源の森づくり」を開催してドングリ等、木の実の採集やタネ植えを行いました。

実施日：平成28年10月3日（月） 8：30～14：30

場 所：○ 湯殿山スキー場・くわだいさくら公園

内 容：○ 講演「ブナ森と水の関係について」 山形大学 農学部 准教授 菊池俊一
○ 木の实拾い・タネ植え作業

